

四旬節第1週 聖餐礼拝			
2017年3月5日 第一礼拝(8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)			
前奏	(新聖歌41)		
聖餐の招詞		司会者	
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	一同	
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」	一同	
祈禱		司会者	
分餐	(新聖歌53)	一同	
感謝の賛美	新聖歌301「わが行く道 いついかに」	一同	
聖書朗読	『ヨハネの福音書』2章13-17節(新約175頁)	司会者	
黙想		一同	
説教	「礼拝を奪ったのはだれ」	近伸之牧師	
黙想		一同	
※応答の賛美	新聖歌237「 ^{つか} 疲 ^は れ果てたる」	一同	
感謝の献金	(新聖歌58)	一同	
感謝祈禱		横堀 信子姉	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌60「 ^{あめつち} 天地こぞりて」	一同	
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同	
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		
(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)			
第一礼拝	配餐の準備：佐藤 鈴子姉 司会・説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	配餐：横堀 正美兄
司集	会：近伸之牧師 会：笹川 清子姉	音響・録音：片山 浩司兄 配餐：横堀 正美兄 映像・録画：近伸之牧師	C S 担当：近伸之牧師 掃除：小林 洋子姉
説教メモ			
1)「異邦人の庭」での販売や両替は、商売人の利益だけでなく、神殿巡礼者の利便性のためでもあった。 2)利便性のために異邦人改宗者たちが礼拝を奪われた。主の憤りは、無自覚な礼拝者へも向けられた。 3)便利さを追及する社会と、神を第一とする礼拝は対極する。しかし永遠のいのちへの入口は礼拝のみ。			
先週の暗唱聖句			
「神こそ、わが岩。わが救い。わがやぐら。私は決して、ゆるがされない」(『詩篇』62篇2節)			
今週の暗唱聖句			
「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです」(『ヨハネの福音書』14章6節)			

個人、団体からの来信				2017年3月5日	
「PBAだより」vol.660／教団紙「世の光」第798号／ 新潟福音放送協力会より会計報告／バイブルハウス南青山／ ヤマハミュージックよりバイカウントオルガンミニコンサートの案内[3月12日(日)午後]					
先週の集会出席者数					
2/26(日)	教会学校	幼児男子ー 小学男子ー 中学男子ー 高校男子ー 男児ー 成人男性ー			
		幼児女子2 小学女子1 中学女子ー 高校女子ー 女児3 成人女性2			
	第一礼拝	男3 女3 計6		※月に一回、実用書道教室を開催	
	歓迎礼拝	男10 女19 計29	2/27(月)	月曜家庭集会	男1 女4
	(子ども)	男児1 女児4	3/1(水)	パルナバ祈禱会	男3 女6
	夕 拝	(休会)	3/3(金)	しゃべり場タビタ	男ー 女4 女児1
			3/3(金)	金曜祈禱会	男ー 女5
諸集会のご案内					
	※月に一回、実用書道教室を開催				
	月曜家庭集会 (休会)				
3/8(水)午後7:30	救 禱 会	教会堂	司 会：片山 初子姉		
3/10(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	小山 千春姉宅	問合先：小山 千春姉		
3/10(金)夜	金曜祈禱会	教会堂			
3/12(日) 四旬節第2週					
第一礼拝 午前8:00	司 会：近伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉			
教会学校 午前9:00			担 当：佐藤 繁実兄		
第二礼拝 午前10:30	司 会：横堀 正美兄 集 会：小林 洋子姉 映 像：近伸之牧師	音響・録音：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：横山 洋平兄 掃 除：佐藤 鈴子姉		
礼拝について	聖書：『ヨハネの福音書』12章1-8節				
午後の予定					
夕 拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします。				
報 告					
1. 本日の予定					
聖餐礼拝の恵みを感謝します。主の十字架を心に刻みつけ、新たな一ヶ月を歩みましょう。					
2. 先週の来会者					
2月26(日)歓迎礼拝に、阿部 ^{たつき} 樹さん(敬和高2年)が出席されました。感謝します。 金曜祈り会に、倉田喜美子さん、小林みちるさんが導かれました。					
3. 今週の予定					
3月7日(火)	午前10:00より	新津福音キリスト教会にてTCU支援会世話人会	近牧師が出席		
〃	午後7時より	新潟福音教会にてライフセンター支援委員会3月定例会	近牧師と横堀正美兄が出席予定		
3月11日(土)	午前中	新発田朝禱会	近牧師が奨励をします		

大阪の堺市に住んでおられるお母さんが1才8ヶ月になるお子さんのことで新聞に相談されていました。「息子はなんでもかんでも『ちゃう!』と言うので、人の前で恥をかいてしまいます。」

その、ちゃう、というのは、関西弁で“ちがう”ということなんですね。お母さんがこうも書いていました。「『あつ、バスが来た』と言うと『ちゃう』、『にゃんにゃんや』と言うと『ちゃう』、しまいには、ちゃうちやうと言って、殴る、蹴る、咬むの三連発をおみまいしてきます。どうすればこの子と話を合わせられるでしょうか」という内容でした。

それに答えた中島さんも、このように言っています。「今のうちに矯正しましょう。チャウチャウを飼って(これはご存じのようにチャウチャウという犬ですね)、“ちゃう”と名付けます。そして『ちゃうちやうやね』『ちゃう』『そう、ちゃうちやうの、ちゃうやね』『ちゃうちやうちゃう!』お子さんはすぐに、『ちゃう』の空しさを知りましょう。」

相談する方もユーモアがあるが、答える方も受けて立っているなあと感じました。きっとほうっておけば「ちゃうちやう」もなおるかもしれませんね。もしかすると、お母さん自身が、お子さんに「ちゃうちやう」と言うことが多かったのではないのでしょうか。

こんな新聞の記事を読みながら、お互いの人間関係のことを考えさせられました。つまり、この坊やが言っていることをお互いに、他者に向かって言っているのではないのでしょうか。つまり他者否定です。相手のやっていることはことごとく否定し、ことごとく認めない。こんな人をよく見かけます。自分のやっていることだけ、自分の言っていることだけが正しいのです。すべて、他のことは「ちゃうちやう」なのですね。

そして、さらに人間は、その他者否定がエスカレートして神をも否定してしまっているのです。「目に見えない神なんて信じられない。いるんだったら存在を証明してほしい」とまで、自己主張するんですね。ところが聖書はこう言っています。「目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません」

(ヨハネの手紙第一4:20)

お互いの、他者否定・自己肯定の主張は、まことの神に対する不信仰からなのですね。キリストはこう言われました。

「人の前でわたしを知らないと言うような者なら、わたしも天におられるわたしの父の前で、そんな者は知らないと言います」

(マタイの福音書10:33)



春なれや名もなき山の薄霞 (芭蕉)



ライフ・ライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



3/11(土)「みつけたよ」泉谷千賀子さん

大阪府在住の羊毛フェルト作家・泉谷千賀さんは、昨年、羊毛フェルトで作った動物たちと聖書のことばのコラボレーション絵本『みつけたよ』を出版しました。祈りを込めて作品制作をしているという泉谷さんは、福島県出身で、作品を手にする誰かを笑顔にできたらと願っています。「作品と絵本のパネル展」の様子、またワークショップの様子を紹介するとともに、お話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年度教会目標

「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

とよ さか 豊栄キリスト教会 (牧師 ちか のぶ ゆき 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

